

コード	504040301
記入日	H23.6.7

課コード	123
課名	世界遺産推進室
課長名	濱田 宇喜雄
担当者	竹内 睦生

# 事務事業途中評価表

作成年度	平成 23 年度
------	----------

評価対象事業名称	世界遺産登録事業
----------	----------

事業種類	継続事業
事業期間	平成 19 年度 ~ 平成 26 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	5	政策名称	しまの誇り・文化の育成	款コード	2
施策コード	504	施策名称	伝統、文化の保存・継承と文化活動支援	項コード	1
基本事業コード	50404	基本事業名称	文化財保護の充実	目コード	10
事務事業コード	5040403	事務事業名称	まちづくり景観資産登録制度事業費	細目コード	1080
関連計画	法令・条例規則等				

## 計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を\*\*\*\*\*とする。

対象：誰、何を対象しているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1)	世界遺産暫定一覧表	(対象指標1)	1,433件			
(対象2)		(対象指標2)				
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
・平成23年度本登録を目標に長崎県と関係5市2町が共同で推進事務を行ってきたが、平成22年7月5日の長崎県世界遺産登録推進会議において本登録目標を平成26年度に変更した。 ・推薦書の作成、個別保存管理計画の策定、景観計画の制定、重要文化的景観の保存調査・保存計画の策定などがその事務にあたる。	・世界遺産保存、活用等行動計画（世界アクションプラン）を第10章のうち第6章まで作成。 →県市町調整会議5回 →市町連絡会議2回 →文化的景観保存計画策定委員会1回 →文化的景観保存計画策定委員会WG会議1回 →アクションプランWG会議6回 →世界遺産登録推進会議1回 実施した。	① 会議開催回数	62回	84%	会議開催回数（実績） +会議開催回数（計画）	平成26年度
		② 会議開催回数	16回	133%		平成22年度
		(達成率分析)	県や関係5市2町の取組状況を考慮しながら研修会等を開催した。			
		(達成率分析)				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		登録構成資産数	0件	0%	登録構成資産数（実績） +登録構成資産数（計画）	平成26年度
		*****	*****	*****		*****
・世界遺産登録申請に向けて、各種調査及び会議を行い、計画書等の策定を行っていく。		(達成率分析)	事業が途中でため、平成26年度に事後評価での達成率を出すものとする。			
		(達成率分析)				

## 実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		21年度以前	22年度		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 回	74	60	44	12	16	12	10	10	5	
	②										
成果指標	① 件	4								4	
	②										
総事業費 C (A+B)	千円	294,549	132,241	78,349	38,000	53,892	56,000	45,000	40,000	37,200	
直接事業費 A	千円	98,549	69,241	50,349	10,000	18,892	21,000	10,000	5,000	2,200	
人件費 B	千円	196,000	63,000	28,000	28,000	35,000	35,000	35,000	35,000	35,000	
内訳	従事職員数	人	28.0	9.0	4.0	4.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円	13,915	9,515	6,430	3,085	3,085	3,400	1,000		
	県補助金	千円	22,245	15,585	13,301	4,734	2,284	3,810	400		
	起債	千円									
	その他	千円									
一般財源	千円	258,389	107,141	58,618	30,181	48,523	48,790	43,600	40,000	37,200	

**評価**

※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	・町が税金を投入して行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	町の財産として後世に残すため是非必要である。
	・時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	町内文化財保護の中心となるので新町の基本的な柱として必ず行わなければならない。
	・事業の対象・目的は適切ですか。	●適切 ●不適切	理由	町指定文化財の保護活動でもあり、適切である。
有効性	・現在の事業の進め方が期待されるような成果をもたらしていますか。	●いる ●いない	理由	世界遺産登録に向けて引き続き検討を重ねなければならない。
	・成果を向上させる余地はありますか。	●ある ●ない	理由	現在、内容の検討を行っている状況である。
	・事業を行わない場合の影響はありますか。	●ある ●ない	理由	町の財産として文化財を後世にしっかり残せない。
	・類似事業との整理統合はできませんか。	できる ●できない	理由	文化財保護の柱として実施しているため類似事業との整理統合はできない。
効率性	・直接事業費を削減することはできませんか。	できる ●できない	理由	最小限の直接事業費を計上しているため削減できない。
	・人件費を削減することはできませんか。	できる ●できない	理由	限られた人件費の中で効率を上げるよう努力を図っているためこれ以上の削減はできない。
	・受益者負担は適正ですか。	●はい ●いいえ	理由	現在計画中であるため受益者負担は発生しない。

**改善**

改善策	1次評価	妥当性	現在のところ計画を見直す必要はない。
		有効性	現在内容の検討を行っている状況である。
		効率性	現在内容の検討を行っている状況である。
		課題に向けた改善策	県全体の世界遺産登録へ向けた事業の進捗状況を勘案し、事業計画年を3年間延長した。
	2次評価	妥当性	1次評価のとおり。
		有効性	町が観光振興及び文化財保護を図るうえで重要な施策と位置づけられる事業である。必要な見直しは関係機関と十分協議すること。
		効率性	経費の執行については、適正に行うこと。

住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次	
	●	●		このまま事業を継続
				事業内容を見直して事業を継続
				事業費を見直して事業を継続
	1次	2次	3次	
				類似事業と整理統合
				事業の休止
				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。